都川公民館（地域学校協働活動・ふるさと郷育）

【活動名】 【活動の主体・エリア】	**都川の棚田学習** **～都川地区住民と旭小学校～**
【めあて・目標】	米作りを通してその楽しさや大変さを感じるとともに、旭の米の良さを広めるために活動することができる。
【子どもたちに身に付けさせたい力】	郷土愛、連帯感（地域の良さを知り、他者に伝える。命を大切にする。人や動植物にやさしくする。）

毎年、旭小学校の５年生が棚田学習を行っており、その際の連絡・調整を公民館が行った。例年、お世話になっている地元の棚田オーナーに公民館から協力の依頼をし、電話で学校と打合せを行った。

当日は、子どもたちは見学をしながら棚田オーナーと質疑応答する時間を設けた。帰りのバスの中では、質疑応答の続きで、同じく都川住民で棚田オーナーでもある館長が子どもたちの質問に答えた。

実施内容　　６月 18 日　旭小学校と実施内容の打ち合わせ
７月 21 日　９：00～11：00
棚田百選「熊ケ谷の棚田」「大屋形の棚田」「田代の棚田」の見学と棚田オーナーとの質疑応答

出 席 者　　５年生児童　21 人、引率教員　２人、地域住民　２人、公民館職員　２人

質疑応答　　質問：なぜ都川の棚田は石垣棚田なのですか
回答：狭い土地で多くの耕作地を確保するためには、法面よりも石垣を垂直に積む方がたくさん確保できます。
質問：農作業を楽に行うために何か工夫したことがありますか。
回答：３年前から病虫害駆除の農薬散布をドローンで行っています。

「田代の棚田」

「熊ヶ谷の棚田」

講師ボランティア 関わった団体・ 組織・機関等	棚田百選「熊ケ谷の棚田」「大屋形の棚田」「田代の棚田」のオーナー
振り返り （良かったこと、 反省点　など）	・普段は歩けない田んぼのあぜ道を歩き、貴重な体験ができたと思う。 ・配布した資料と棚田オーナーの説明はわかりやすかった。 ・米作りへの関心と郷土への愛着が深まったと思う。 【小学校のコメント】 棚田の中を実際に歩かせていただき、その美しさや歴史を体感することができた。それぞれの棚田を作っておられる方の話も聞け、地域の宝を守っていこうとする方々の熱意も感じることができた。